

International Exchange

ラハティ応用科学大学 学生作品交流展 2017

富山大学芸術文化学部講師 ペルトネン 純子



写真3 展示会場の様子

1. ラハティ応用科学大学との学部間交流

ラハティ応用科学大学との友好協定の歴史は、平成9（1997）年から始まります^{*1}。また学生作品の相互交流展は、平成14（2002）年にラハティ市で開催して以来、平成15（2003）年に高岡、平成17（2005）年にラハティ、平成20（2008）年に高岡、平成22（2010）年にラハティ、平成25（2013）年に高岡、平成27（2014）年にラハティ^{*2}、そして平成29年3月の実施で8回目を迎えました。

2. 学生作品交流展2017

学生作品交流展2017の開催については表1の通りです。なおオープニングセレモニーでは、ラハティ応用科学大学デザイン学部代表者としてAri Kähkönen氏による挨拶がおこなわれ、オープニングセレモニー後の作品解説は、ラハティ応用科学大学デザイン学部学生のAnneli TyrväinenとZoja Ristikannkareの両名によっておこなわれました。

表1 交流展2017の概要

項目	概要
日付	平成29（2017）年3月14日（火）～3月23日（木）
場所	富山大学高岡キャンパス エントランスホール2階
オープニング セレモニー	日付：平成29（2017）年3月14日（火） 時間：11時～12時 場所：展示場所において 参加者：学生や教員を含めて約50名
来賓	高岡フィンランド協会会長 荒井公夫氏 高岡市デザイン・工芸センター所長 高川昭良氏
展示物	表2を参照
広報	ラハティ応用科学大学学生によるデザインをもとに日本語情報をあわせ、ポスター200枚、DM2,000枚を関係機関に送付。
展示 レイアウト	芸術文化学部・大熊教授の指示のもとエントランスホール2階にレイアウト（図1）。

表2 交流展展示物リスト

展示物	内容
ポスター 34枚	ファッション分野 8枚
	ファニチャー分野 3枚
	インダストリアル分野 2枚
	インテリア分野 4枚
	ジュエリー分野 6枚
	フォトグラフ分野 7枚
	ヴィークルデザイン分野 4枚
映像作品 2作品	アニメーション 1作品
	プロダクトデザイン 1作品



写真1 展示会場オープニングセレモニー



写真2 ラハティ応用科学大学生による作品解説の様子

3. 両学部における国際交流についての懇談と見学会

懇談は、次に示すメンバーでおこなった。ラハティ応用科学大学デザイン学部代表者・Ari Kankänen、富山大学芸術文化学部学部長・武山良三、国際交流委員長・内田和美、国際交流委員・上原雄史、国際交流委員・ペルトネン純子。懇談の内容は主に、両学部で共同で取り組む教育及び研究の方法について話し、国際間教育等を支援する機関などへの申請を共同で模索してゆくことを決めた。

懇談の後、ラハティ応用科学大学デザイン学部代表者・Ari Kankänenとラハティ応用科学大学デザイン学部生2名とともに、富山県デザインセンター及び高岡市デザイン・工芸センターを訪問し、施設内の設備見学や企業支援のあり方などの説明を受けた。また施設内に展示されているクラフト製品なども見学した。見学の際、改めて芸術文化学部及びその周辺地域におけるつくる力と、ラハティ応用科学大学のデザインの能力とを掛け合わせた連携の可能性を確認した。

註

- *1 ペルトネン純子、「ラハティ応用科学大学との新たな交流に向けて」、富山大学芸術文化学部紀要第9巻、平成27年2月、p.32-33。
- *2 ペルトネン純子、「ラハティ応用科学大学における交流展2014」、富山大学芸術文化学部紀要第10巻、平成28年2月、p.20-21。



写真4 高岡市デザイン・工芸センターにおける漆工資料の見学の様子



写真5 クラフト製品の見学の様子

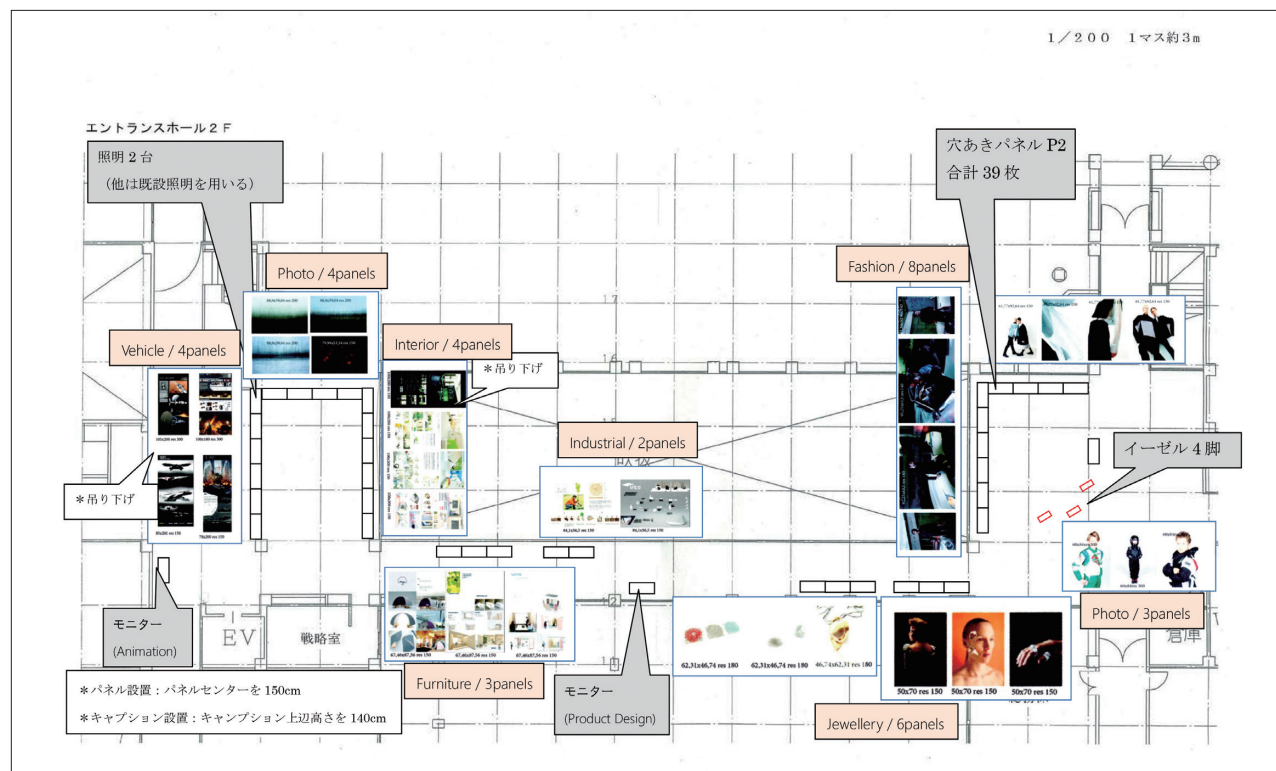


図1 学生作品交流展のレイアウトの図